

古文書で読み解く 江戸の鷹狩

～立川周辺は

尾張藩の鷹場だった～



【日時】10月31日(土) 午後1時～4時(途中休憩あり)

【開場】午後0時30分

【場所】女性総合センター 第3学習室

(ファール立川センタースクエア5階 立川市曙町2-36-2)

【要旨】江戸時代後期、多摩地域内には尾張藩の「鷹場」が置かれ、立川周辺もその一角を占めていました。幕府代官と尾張藩鷹場役人の関係はどのようなものだったのでしょうか。二重支配のもと鷹場に課される様々な制限や負担、それによって得られる特権と役得に住民はどのように向き合っていたのでしょうか。徳川林政史研究所 特任研究員として、市史編纂や文化財保護の現場で長年にわたり一次資料の発掘と実証研究に携わり江戸鷹場研究を牽引してきた講師が、鮮やかな古地図や絵図を交えて鷹狩の様子を紹介するとともに、幕府代官から村々へ出された触書や、村が記録した地方文書を読み解き、その実像を明らかにします。

【講師】山崎 久登 氏

東京都立深沢高等学校 主任教諭

立川市史近世部会編集委員

狛江市文化財保護審議会委員

著書に『江戸鷹場制度の研究』(吉川弘文館、2017年)。論文寄稿多数。

徳川林政史研究所 特任研究員

国分寺市市史編さん推進委員会専門部会専門員

新島村博物館館外研究協力委員

【定員】50人(申込順)

【申込】10月1日(木) 午前9時～10月15日(木) まで、立川市図書館ホームページで受付

(立川市図書館ホームページ>[イベント一覧](#))

【実施館】立川市中央図書館(図書館サービス係) TEL042(528)6800

※電話での申込はお受けいたしません。

※定員に達した時点で受付終了となります。キャンセル待ちはお受けしません。

※講演内容についての電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

【主催】立川市図書館

[イベント一覧](#)

